

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail: s0dan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南1-1-85 (03)6718-1251
 JR東海品川ビル8階3F
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二



「春の全職場総対話行動」開催中!!

3月から5月にかけて、分会主催の「春の全職場総対話行動」が各地で開催されている。コロナ禍が続く中ではあるが組合員の安全に配慮し、地本・支部・分会の「創意工夫」により開催している。

今回の全職場総対話行動についてもコロナ禍により、「秋の全職場総対話行動」と同様に、組合員との直接対話を主とする「集会形式（A方式）」と、分会役員との「ヒアリング形式（B方式）」を基本とし、ZOOM等を活用したりモット方式も取り入れながら

取り組みを展開している。「春の全職場総対話行動」においては、「2022年春季生活改善闘争」の取り組みについての報告と、これまでにいただいた意見・要望に関するフィードバックを行い、多くの組合員と双方方向のコミュニケーションを図っている。また東京、名古屋の両総支部においては、リニア中央新幹線の建設に関わる組合員からの意見を集約し、現状の課題や問題を適切に把握するため実験センターや工事事務所においても開催をしている。各級

機関が連携を強化し、全組合員の参画により、積極的な討議が展開されている。例年同時期に出向組合員を対象として開催している「出向者総対話行動（後期）」についても、組合員の安全に配慮した上で開催し、出向先での就労状況をはじめとする、出向組合員が抱える様々な課題を把握し、解決するべく意見集約を図っている。

引き続き、全職場総対話行動を通じた組織強化のサイクルを意識し全機関で取り組みを推進していく。

～継続するコロナ禍においても、組合員の安全に配慮し各級機関の創意工夫により各地で開催～



経営協議会で令和4年度運営方針について議論

3月31日、経営協議会を実施し「令和4年度運営方針」について労使で幅広い意見交換を行った。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き当社の経営は予断を許さない状況が続いているものの、令和4年度も安全・安定輸送の確保を最優先としつつ、必要な諸施策を着実に進めていくことを労使で確認した。

経営協議会では、「安全・安定輸送の確保に向けた着実な取組み」「輸送サービスの充実」「中央新幹線計画の推進」「超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウン」「業務改革の推進」「営業施策の強化」「技術開発の推進及び技術力の強化」「グループ事業の推進」「高速鉄道システムの海外展開の取組み」「社員育成及び労使関係の充実」「地球環境保全等の持続可能な社会の実現に向けた取組み」といった重点施策が示された。また、この厳しい経営状況から脱却し、将来のさらなる成長を見据えた組織横断的なICTの活用、新しい発想・技術によるサービスの創出による収益の拡大、業務改革を引き続き強力に推進し、経営体力の再強化を図ることに加え、鉄道の環境優位性をさらに高めるための各種取組みを推進していくことなどが明らかとなった。